

UCI 琵琶湖マイアミランドレースレポート

UCI Kansai Cyclocross Yasu Round

パナソニックレディース 豊岡英子



日時 2013年11月24日

天候 晴れ

場所 滋賀県琵琶湖マイアミランド

結果 **優勝**

先週に引き続き、2週連続の UCI レース琵琶湖マイアミ。

本来なら、ベルギーでワールドカップ KOKSIJDE に出たいところだが仕方ない。

コースは、マイアミビーチの長い砂セクションがメインであろう。

本来なら女子は午後にレースだが、UCI レースということで、スタートは10:32。

時間を替えるのであれば、マスターズが女子の2分前スタートを、この日だけでも女子を先にスタートさせて貰いたいものだ。

試走が8:20からであり、ライダーズミーティングが9:15からとまったく時間が無い。

ミーティング後、すぐにアップを開始し、スタートラインへ行く。

前日から身体がすごく重く、レースは相当キツイ物になるだろうと、覚悟はしていた。



マスターズが2分前にスタートしていき、10:32スタート。

スタートは長い舗装路だ。

誰も私の前には出ない。

1周目は、ショートコースとなり、すぐに長い砂区間だ。

ピット前の砂区間で、後ろに連なっているなど感じた。

しかし、まったく焦ることなく芝のコーナーをこなし、シケインを越え、ホームストレートに入る。

後ろとは、3秒くらいだろうか。

身体の重さを感じつつ、最後まで自分の走りをすれば良い、と考えていた。

すでに、マスターズの選手に追いつき始めていたので、思うように自分のラインでは走れない。

前に道を譲ってくれる人もいれば、競ってくる人もいる。

これも練習だな、と思い丁寧に抜かしていく。

今回のレースから投入した challenge の chicane というタイヤの走りやすさに驚いた。

後ろの宮内選手は、5秒差くらいだろうか。

マスターズの選手とゴチャゴチャでよく解らない。

とにかく、1つのミスで大きく変わってしまうので、ミスなく丁寧に丁寧に自分と言いかせる。

3周目の浜から上がってくる砂区間で、降りずに上がったのがとても自信となった。
最終周回、砂区間が終わったところで真後ろに宮内選手が追いついてきた。
しかし、今までの自分と違って、まったく焦るじょとが無かった。
とにかくミスせずに、走ることを心掛ける。
ところが、まさかのマスターズの選手が競ってきたりと、大変ではあったが・・・。
最後はホームストレートで、ダッシュして1番でゴールラインを通過できた。
日本国内のUCIレースをすべて優勝できたので、とても嬉しかった。
応援ありがとうございました。

使用機材

自転車	パナソニック
ヘルメット	OGK KABUTO
ステム	dixna
ハンドル	onebyesu
フォーク	onebyesu
バーテープ	dixna
サングラス	adidas eye wear
ウェア	パールイズミ
タイヤ	challenge
サドル	fi' zi:k
シューズ	fi' zi:k
遠征バック	deuter
チェーンオイル	Holmenkol

チェーン：ルーベエクストリーム、ダートプロテクター、スポーツクリーン

スプロケット：ダートプロテクター、ライニガー

フレーム：スポーツポリッシュ、アクアスピード、ダートプロテクター

ウェア、シューズ：ハイテクプルーフ、テキスタイルウォッシュ

サングラス：ノーフォグ

コンプレッション 2XU